

第39回全国豊かな海づくり大会 第2回秋田県実行委員会

資 料



大会公式シンボルマーク
(豊かな海づくり大会推進委員会)

平成30年4月26日(木) 午後3時～
秋田キャッスルホテル4階 放光の間

一 目 次

I	第39回全国豊かな海づくり大会 秋田県実行委員会設置要綱の一部改正	・・・ P 1
II	第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会に関連する 平成29年度県予算事業の実績	・・・ P 8
III	第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会に関連する 平成30年度県予算事業の実施計画	・・・ P 10
IV	第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会 大会テーマ及び大会キャラクターコスチュームデザイン	・・・ P 11
V	第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会基本計画書（案）の骨子	・・・ P 13
別冊	第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会基本計画書（案）	

I 第39回全国豊かな海づくり大会秋田県実行委員会

設置要綱の一部改正

(1) 改正内容

秋田県農林水産部の組織改正に伴い、要綱第9条に定める事務局を「秋田県農林水産部水産漁港課全国豊かな海づくり大会推進室内」に改める。

(2) 施行年月日

平成30年4月1日付け

参考1 第39回全国豊かな海づくり大会秋田県実行委員会設置要綱（別添）

参考2 実行委員会名簿（平成30年4月26日現在） （別添）

第39回全国豊かな海づくり大会秋田県実行委員会設置要綱

(名 称)

第1条 本会は、第39回全国豊かな海づくり大会秋田県実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 実行委員会は、第39回全国豊かな海づくり大会（以下「大会」という。）の開催に関する次の事項を審議するものとする。

- (1) 大会の開催に必要な基本計画及び実施計画の策定に関すること。
- (2) 関係機関及び団体との連絡調整等に関すること。
- (3) その他必要な事項に関すること。

(構 成)

第3条 実行委員会は、会長、副会長、委員（以下「実行委員」という。）、顧問及び参与をもって構成する。

- 2 会長は、秋田県知事をもって充てる。
- 3 副会長は、秋田県漁業協同組合代表理事組合長及び開催市町村長をもって充てる。
- 4 実行委員、顧問及び参与は、別表に掲げる職にある者をもって充てる。

(委員等の職務等)

第4条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長が事故その他やむを得ない事由があるときは、副会長のうちから会長が指名した者が、その職務を代理する。
- 3 顧問は、大会の運営に関し助言する。
- 4 参与は、報道機関とする。

(任 期)

第5条 実行委員の任期は、第10条の規定により実行委員会が解散する日までとする。ただし、特別な理由があると会長が認めるときは、この限りではない。

(会 議)

第6条 実行委員会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じ会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 会議は、実行委員の半数以上の出席をもって成立するものとする。
- 3 実行委員は、事故その他やむを得ない事由により会議に出席できないときは、代理人を出席させることができる。

- 4 会議の議事は、議長を除く出席した実行委員の過半数でこれを決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。
- 5 会長は、必要があると認めるときは、会議に実行委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(幹事会)

第7条 実行委員会で審議する事項を検討するため、実行委員会に幹事会を置く。

- 2 幹事会は、幹事長、副幹事長及び幹事をもって構成する。
- 3 幹事長は、秋田県農林水産部長をもって充てる。
- 4 副幹事長は、秋田県漁業協同組合専務理事をもって充てる。
- 5 幹事は、幹事長が指名する。
- 6 幹事会の運営に関し必要な事項は、幹事長が別に定める。

(専門部会)

第8条 幹事会で検討する事項を調査するため、幹事会に専門部会を置く。

- 2 専門部会の運営に関し必要な事項は、幹事長が別に定める。

(事務局)

第9条 実行委員会の事務を処理するため、秋田県農林水産部水産漁港課全国豊かな海づくり大会推進室内に事務局を置く。

(組 織)

第10条 実行委員会は、大会の実績報告をもって解散する。

(補 足)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成29年7月3日から施行する。
- 2 この要綱は、実行委員会の解散をもって失効する。

附 則

- 1 この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

別表第3条関係

No	役職	所属・役職名
1	会長	秋田県知事
2	副会長	秋田県漁業協同組合代表理事組合長
3	副会長	秋田市長
4	顧問	秋田県議会議長
5	顧問	秋田県議会農林水産委員長
6	顧問	秋田市議会議長
7	委員	秋田県市長会長
8	委員	秋田県町村会長
9	委員	能代市長
10	委員	男鹿市長
11	委員	由利本荘市長
12	委員	潟上市長
13	委員	にかほ市長
14	委員	三種町長
15	委員	八峰町長
16	委員	秋田海上保安部長
17	委員	秋田県内水面漁業協同組合連合会 代表理事会長
18	委員	公益財団法人秋田県栽培漁業協会 理事長
19	委員	日本漁船保険組合秋田県支所 支所長
20	委員	全国漁業信用基金協会秋田支所 担当理事
21	委員	全国合同漁業共済組合秋田県事務所 所長
22	委員	全国共済水産業協同組合連合会東北事業本部秋田支店 支店長
23	委員	秋田県鮭鱒増殖協会 会長
24	委員	全日本漁港建設協会秋田県支部 支部長
25	委員	秋田県漁業士会 会長
26	委員	秋田県漁協女性部連絡協議会 会長
27	委員	秋田県ハタハタ加工産業振興協議会 会長
28	委員	しょつつる研究会 会長
29	委員	秋田県農業協同組合中央会 会長
30	委員	秋田県森林組合連合会 代表理事会長
31	委員	秋田県商工会議所連合会 会長
32	委員	秋田県商工会連合会 会長
33	委員	秋田県中小企業団体中央会 会長
34	委員	一般社団法人秋田県観光連盟 会長

No	役職	所属・役職名
35	委員	公益財団法人秋田観光コンベンション協会 理事長
36	委員	株式会社秋田県物産振興会 代表取締役
37	委員	公益社団法人秋田県バス協会 会長
38	委員	秋田県警察本部長
39	委員	秋田県教育委員会教育長
40	委員	秋田県総務部長
41	委員	秋田県企画振興部長
42	委員	秋田県あきた未来創造部長
43	委員	秋田県観光文化スポーツ部長
44	委員	秋田県健康福祉部長
45	委員	秋田県生活環境部長
46	委員	秋田県農林水産部長
47	委員	秋田県産業労働部長
48	委員	秋田県建設部長
49	委員	秋田県会計管理者（兼）出納局長
50	委員	秋田県山本地域振興局長
51	委員	秋田県秋田地域振興局長
52	委員	秋田県由利地域振興局長
53	委員	秋田県議会事務局長
54	参与	株式会社秋田魁新報社 代表取締役社長
55	参与	株式会社朝日新聞社秋田総局 総局長
56	参与	株式会社毎日新聞社秋田支局 支局長
57	参与	株式会社読売新聞社秋田支局 支局長
58	参与	株式会社河北新報社秋田総局 総局長
59	参与	株式会社産経新聞社秋田支局 支局長
60	参与	株式会社時事通信社秋田支局 支局長
61	参与	一般社団法人共同通信社秋田支局 支局長
62	参与	株式会社日本経済新聞社秋田支局 支局長
63	参与	日本放送協会秋田放送局 局長
64	参与	株式会社秋田放送 代表取締役社長
65	参与	秋田テレビ株式会社 代表取締役社長
66	参与	株式会社北羽新報社 取締役社長
67	参与	株式会社エフエム秋田 代表取締役社長
68	参与	秋田朝日放送株式会社 代表取締役社長
69	参与	株式会社秋田ケーブルテレビ 代表取締役

第39回全国豊かな海づくり大会秋田県実行委員会名簿

(平成30年4月26日現在)

(敬称略)

No	役職	所属・役職名	氏名
1	会長	秋田県知事	佐 竹 敬 久
2	副会長	秋田県漁業協同組合代表理事組合長	藤 田 博 英
3	副会長	秋田市市長	穂 積 志
4	顧問	秋田県議会議長	鶴 田 有 司
5	顧問	秋田県議会農林水産委員長	小 松 隆 明
6	顧問	秋田市議会議長	小 林 一 夫
7	委員	秋田県市長会長	穂 積 志
8	委員	秋田県町村会長	佐々木 哲 男
9	委員	能代市長	齊 藤 滋 宣
10	委員	男鹿市長	菅 原 広 二
11	委員	由利本荘市長	長谷部 誠
12	委員	潟上市市長	藤 原 一 成
13	委員	にかほ市長	市 川 雄 次
14	委員	三種町長	三 浦 正 隆
15	委員	八峰町長	森 田 新一郎
16	委員	秋田海上保安部長	真 崎 和 彦
17	委員	秋田県内水面漁業協同組合連合会 代表理事会長	湊 屋 啓 二
18	委員	公益財団法人秋田県栽培漁業協会 理事長	中 村 彰 男
19	委員	日本漁船保険組合秋田県支所 支所長	菅 原 将 人
20	委員	全国漁業信用基金協会秋田支所 担当理事	山 本 健 藏
21	委員	全国合同漁業共済組合秋田県事務所 所長	佐 藤 公 一
22	委員	全国共済水産業協同組合連合会東北事業本部秋田支店 支店長	佐々木 裕 之
23	委員	秋田県鮭鱒増殖協会 会長	須 田 壽 夫
24	委員	全日本漁港建設協会秋田県支部 支部長	清 水 重 輝
25	委員	秋田県漁業士会 会長	佐々木 昭
26	委員	秋田県漁協女性部連絡協議会 会長	新城谷 恵美子
27	委員	秋田県ハタハタ加工産業振興協議会 会長	金 森 俊 和
28	委員	しょつつる研究会 会長	高 橋 信 一
29	委員	秋田県農業協同組合中央会 会長	船 木 耕太郎
30	委員	秋田県森林組合連合会 代表理事会長	佐 藤 重 芳
31	委員	秋田県商工会議所連合会 会長	三 浦 廣 巳
32	委員	秋田県商工会連合会 会長	村 岡 淑 郎
33	委員	秋田県中小企業団体中央会 会長	藤 澤 正 義
34	委員	一般社団法人秋田県観光連盟 会長	齋 藤 善 一

No	役職	所属・役職名	氏名
35	委員	公益財団法人秋田観光コンベンション協会 理事長	三 浦 廣 巳
36	委員	株式会社秋田県物産振興会 代表取締役	麥 澤 博 英
37	委員	公益社団法人秋田県バス協会 会長	齋 藤 善 一
38	委員	秋田県警察本部長	森 末 治
39	委員	秋田県教育委員会教育長	米 田 進
40	委員	秋田県総務部長	名 越 一 郎
41	委員	秋田県企画振興部長	妹 尾 明
42	委員	秋田県あきた未来創造部長	湯 元 巖
43	委員	秋田県観光文化スポーツ部長	佐々木 司
44	委員	秋田県健康福祉部長	保 坂 学
45	委員	秋田県生活環境部長	高 橋 修
46	委員	秋田県農林水産部長	齋 藤 了
47	委員	秋田県産業労働部長	水 澤 聡
48	委員	秋田県建設部長	小 川 智 弘
49	委員	秋田県会計管理者（兼）出納局長	鎌 田 雅 人
50	委員	秋田県山本地域振興局長	小 坂 純 治
51	委員	秋田県秋田地域振興局長	小 野 一 彦
52	委員	秋田県由利地域振興局長	信 田 隆 善
53	委員	秋田県議会事務局長	赤 川 克 宗
54	参与	株式会社秋田魁新報社 代表取締役社長	小笠原 直 樹
55	参与	株式会社朝日新聞社秋田総局 総局長	林 敦 彦
56	参与	株式会社毎日新聞社秋田支局 支局長	大 槻 英 二
57	参与	株式会社読売新聞社秋田支局 支局長	小 坂 佳 子
58	参与	株式会社河北新報社秋田総局 総局長	松 田 博 英
59	参与	株式会社産経新聞社秋田支局 支局長	藤 澤 志穂子
60	参与	株式会社時事通信社秋田支局 支局長	張 替 昭 彦
61	参与	一般社団法人共同通信社秋田支局 支局長	戸 部 大
62	参与	株式会社日本経済新聞社秋田支局 支局長	早 川 淳
63	参与	日本放送協会秋田放送局 局長	涌 井 良 介
64	参与	株式会社秋田放送 代表取締役社長	立 田 聡
65	参与	秋田テレビ株式会社 代表取締役社長	神 成 俊 行
66	参与	株式会社北羽新報社 取締役社長	山 木 泰 正
67	参与	株式会社エフエム秋田 代表取締役社長	佐 藤 誠 一
68	参与	秋田朝日放送株式会社 代表取締役社長	桜 井 元
69	参与	株式会社秋田ケーブルテレビ 代表取締役	松 浦 隆 一

Ⅱ 第 39 回全国豊かな海づくり大会・あきた大会に関連する 平成 29 年度県予算事業の実績

総事業費 20,913 千円

1 実行委員会運営事業 (9,945 千円)

(1) 実行委員会等の開催実績

- ・平成 29 年 6 月 1 日 第 2 回準備委員会：会場候補等基本構想案について
- ・平成 29 年 6 月 27 日 準備委員会第 3 回専門部会：会場候補案の絞り込み
- ・平成 29 年 7 月 11 日 第 3 回準備委員会：基本構想案の決定
- ・平成 29 年 8 月 18 日 第 1 回実行委員会：基本構想の成案化
- ・平成 29 年 9 月 28 日 実行委員会第 1 回幹事会：基本計画案について
- ・平成 29 年 10 月 10 日 実行委員会第 1 回専門部会：同上
- ・平成 29 年 11 月 24 日 実行委員会第 2 回専門部会：会場視察等
- ・平成 29 年 12 月 22 日 実行委員会第 3 回専門部会：大会テーマ等審査
- ・平成 30 年 1 月 24 日 実行委員会第 4 回専門部会：魚種選定、基本計画案協議
- ・平成 30 年 3 月 9 日 実行委員会第 5 回専門部会：基本計画案の決定
- ・平成 30 年 3 月 22 日 実行委員会第 2 回幹事会：同上

(2) 水産業 P R 映像・冊子の制作

「平成 28 年度秋田の水産業 P R 映像等制作業務委託」

- ・契約金額 4,590 千円
- ・契約期間 平成 29 年 2 月 17 日～平成 30 年 3 月 16 日
- ・受注者 株式会社秋田放送
- ・業務概要 秋田の地魚を四季毎に取り上げ、その生育環境や食文化、調理方法等について、動画とパンフレットを制作。

2 大会記念イベント開催事業 (3,000 千円)

地魚の食文化や水産振興の取組、自然環境の保全等を全県に発信するとともに、大会の啓発普及を図るため、「地魚フェスティバル」を開催。

- ・事業主体 秋田の地魚消費拡大協議会
(県漁協、県ハタハタ加工産業振興協議会、しょつつる研究会、県)
- ・実施内容 平成 29 年 11 月 11 日～12 日(土、日)、秋田駅周辺で開催
鮮魚・地魚加工品・特製さば缶販売、ふるまい鍋、試食、展示(大会 P R、環境保全等)、ステージイベント(お魚クイズ、トークショー等)
- ・総事業費 5,750 千円(うち県費 3,000 千円)

3 県民総合リレー放流事業 (1,968 千円)

つくり育てる漁業を推進するため、海面及び内水面で県民参加型の種苗放流を実施。

- ・実施主体 漁協、商工会、老人会等地域活動団体 9 団体
- ・実施時期 6 月～10 月順次開催
- ・実施場所 大館市、北秋田市、八峰町、藤里町、秋田市、由利本荘市、大仙市、横手市 計 10 箇所
- ・実施内容 種苗の購入(県)及び放流イベント開催支援(P R 物品等配布)

【実績】

N o	実施月日	実 施 主 体	参 加 者	放流魚種
1	6/ 2	J F 子吉川水系	小学生等 31 人	ア ユ
2	6/ 4	旭川清流の会	親子ほか 13 人	ア ユ
3	6/ 6	J F 粕毛	幼稚園児等 18 人	ア ユ
4	6/ 9	寺田寿会	老人会 29 人	ア ユ
5	6/11	J F 横手川	親子等 50 人	ア ユ
6	6/12	J F 比内町	養護学校生徒等 28 人	ア ユ
7	8/ 5	白神八峰商工会	一般 500 人	アワビ
8	8/ 6	ラブリバーネット北秋田	親子等 20 人	ア ユ
9	10/ 1	J F 仙北西部	一般・小学生 200 人	イワナ
10	10/11	J F 子吉川水系	小学生・教諭 24 人	コ イ
	計		913 人	

4 安全で魅力ある漁港づくり推進事業

(6,000 千円)

(1) にかほ市平沢漁港のクリーンアップ

- ・実施者 県（漁業者、漁協、周辺企業・自治会、市と協働）
- ・実施内容 放置されている漁網やロープ等の清掃・産廃処分

(2) 平沢漁港海岸の漂着物・堆積漂砂混合物の調査

- ・業務内容 漁港海岸に積み上げられている漂着物・堆積漂砂混合物の土質等調査（分別・処分方法や有効利用の可能性を検討するため）

(3) 金浦漁港・象潟漁港の不法投棄未然防止対策

- ・業務内容 不法投棄を防ぐための照明具等設置

5 その他、広報活動等

(1) メディア等広報

行政広報誌や新聞、ラジオ等を活用した広報展開のほか、PR用のぼり旗やポケットティッシュを配布するなど、様々な啓発普及を展開。

- ・実施内容 行政広報誌掲載 5 回、県政ラジオ広報 2 回、県庁舎看板広報 1 回
企業協賛PR 3 回（お菓子動画・包装袋でのPR、カレンダー掲示）

(2) 他機関主催の協賛イベントでの大会PR

県内イベントで 22 回、県外イベントで 9 回、計 31 回の協賛イベントでの大会PRを実施。

PR方法は、出展ブースでポスターとのぼり旗を掲出、大会PRチラシや水産関係パンフレット、ティッシュペーパー等を配付。

- ・実施内容 県内 22 回、県外 9 回 計 31 回（約 16,000 人に配布）

Ⅲ 第 39 回全国豊かな海づくり大会・あきた大会に関連する 平成 30 年度県予算事業の実施計画

総事業費 52,302 千円

- 1 実行委員会運営事業 (747 千円)
実行委員会や幹事会、専門部会を運営し、本大会に向けた準備を進める。
- 2 広報宣伝事業 (7,880 千円)
県内外で大会の機運醸成を図るため、ホームページの制作等を行う。
 - ・ 大会専用ホームページの制作
 - ・ 大会キャラクター着ぐるみや P R グッズ等の作成
- 3 県民参加推進事業 (12,704 千円)
 - ア 地魚フェスティバルの開催
大会の機運醸成を図るため、「地魚フェスティバル 2018 あきた」(仮称)を開催する。
 - (ア) 実施主体 秋田の地魚消費拡大協議会
 - (イ) 実施場所 秋田市内
 - (ウ) 実施時期 9～10 月頃(予定)
 - (エ) 実施内容 秋田の地魚への理解と関心を深めてもらうための企画展示・試食・販売等
 - イ 県民総合リレー放流事業
沿岸及び河川流域の市町村が行う県民参加型の放流イベントの開催を支援する。(20カ所余)
 - ウ 漁港のクリーンアップ活動
大会で視察が予定される漁港において、漁業者や地域住民等と協働してクリーンアップ活動を実施する。
 - (ア) 実施場所 椿漁港・北浦漁港・畠漁港(男鹿市)
 - (イ) 実施時期 6～12 月頃
 - (ウ) 実施内容 魚網・ロープ等放置漁具の分別・集積、産廃処理等
- 4 大会実施事業 (22,247 千円)
実施計画の策定や 1 年前プレイベントの開催等を行う。
 - ア 実施計画の策定
本大会の詳細内容を定めた実施計画を策定する。
 - イ 1 年前プレイベントの開催
 - (ア) 実施場所 秋田港(飯島地区及び道の駅周辺)
 - (イ) 実施時期 9～10 月頃(予定)
 - (ウ) 実施内容 本大会を契機とした水産振興等への理解と関心を深めてもらうためのセレモニー、企画展示、水産物等の販売、稚魚放流等
- 5 大会開催準備事業 (8,724 千円)
水産庁等関係機関との調整や先催県の調査、P R など

Ⅳ 第 39 回全国豊かな海づくり大会・あきた大会 大会テーマ及び大会キャラクターコスチュームデザイン

1 募集概要

- (1) 募集期間 平成 29 年 9 月 11 日(月)～11 月 24 日(金)
- (2) 募集対象 秋田県内在住の小学生以上
- (3) 応募総数 大会テーマ 481 点
大会キャラクターコスチュームデザイン 823 点

2 大会テーマ各入賞作品

区 分	作 品	氏名（敬称略）
最優秀賞	海づくり つながる未来 豊かな地域	佐々木 柚歌 大仙市立大曲南中学校
優 秀 賞	澄みわたる未来へつなぐ海づくり	相馬 千夏 県立仁賀保高等学校
	海へ！未来へ！広がる ^{いのち} 生命	最上 純聖 大仙市立大曲南中学校
	美しい海 守ろうつなげよう ぼくたちの未来へ	大橋 響 秋田市立勝平小学校
佳 作	うつくしい ^{みなも} 水面に広がる 未来の地図	鎌田 芽依 潟上市立東湖小学校
	つくろう つなげよう 森と川と海の未来	小玉 紗貴 秋田市立勝平小学校
	あふれる自然 あふれる水 あふれだす ぼくたちの未来	石黒 寿一 秋田市立勝平中学校
	海と川 未来へ繋ごう 地域の絆	今野 美香 県立仁賀保高等学校
	森と川 大地の恵み 育む海みらい	伊東 富美子 秋田市

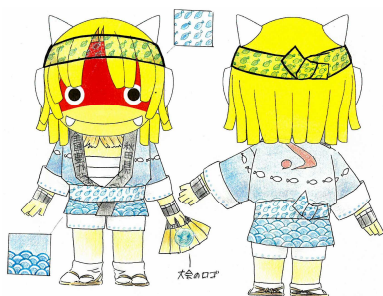
3 大会キャラクターコスチュームデザイン各入賞作品

最優秀賞



松山 亜耶
秋田市

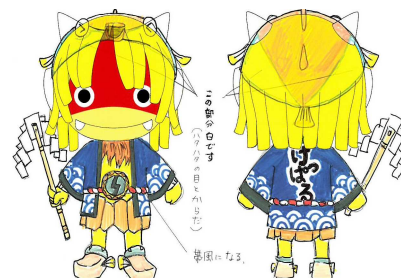
優秀賞



中田有希乃
県立仁賀保高等学校



田口 紗和
県立仁賀保高等学校



櫻庭 遥歌
秋田市立御野場中学校

佳 作



三浦 萌
県立由利高等学校



加賀谷はな
大仙市立花館小学校



齋藤 瑠南
県立仁賀保高等学校



齋藤 風花
秋田市立土崎中学校



細井 藍花
大仙市立横堀小学校

※学校名については、応募時点のものです。

I 全体概要

1 基本理念

秋田県の特徴ある水産物や農山漁村地域の環境・歴史・文化などの魅力を全国に広く発信するとともに、水産業の振興と観光との融合により地域の活性化を図る。

2 基本方針

- つくり育てる漁業を中心とした水産業の振興と地域の活性化
- 豊かな自然環境の保全・利活用
- 観光と水産との融合 ○ 秋田の魅力とまごころあふれる大会のアピール

II 大会計画

1 行事計画

- 式典行事（県立武道館）
海の大切さや水産振興の取組を発信（団体表彰、漁業関係者メッセージ、大会決議等）
※ お手渡し魚種等：ハタハタ、サクラマス、エゾアワビ、ワカメ
- 海上歓迎・放流行事（秋田港）
（秋田港飯島地区）
※ 放流魚種：マダイ、トラフグ
- 歓迎レセプション
魚介類をはじめとする本県の農林水産物を豊富に使った食材等によるおもてなし
- 関連行事（秋田市ほか）
本県の魅力を発信し秋田らしいおもてなしの心で歓迎
（ステージイベント、作文・絵画等コンクール作品展作品等の展示、物販、大会中継、等）

2 運営計画

来場者の安全を確保し環境負荷を軽減しながら、県民との協働により来場者の心に残る運営に努めるとともに、関係機関等と連携し事故の防止や非常時の迅速な対応を行う。

3 宿泊・輸送等の基本方針

- 宿泊
大会参加者の利便性や都道府県別、参加の区分等に配慮して、旅館業法の許可を受けて営業を行う秋田市内のホテル・旅館に配宿。宿泊料金は、宿泊施設の内容を勘案し段階別料金を設定し、食事や弁当等は、衛生的で地元食材を取り入れた郷土色豊かなものとなるよう配慮する。
- 輸送
大会当日の招待者の輸送は、宿泊施設又は指定集合地から各会場までバス輸送とする。可能な限り駐車場を確保し、効率的な利用を図る。交通安全と混雑緩和のため、交通規制等の適切な措置を講じる。

4 荒天時等の計画

荒天時や地震、その他突発的な事案等に迅速・適切に対応するための判定会議を開催し、気象状況や警察、消防等からの情報収集・整理により、大会行事の実施の適否を判断する。

III 機運醸成・広報

- 地魚フェスティバル
毎年1回、海沿岸市町村
県産魚介類の認知度向上と消費拡大を図る
- 豊かな海づくりキャンペーン
通年、県内全域
大規模イベントと連携し大会PR活動
- 1年前プレイベント
平成30年秋、秋田市内
稚魚放流、展示・物販 等
- 全県総合リレー放流
毎年4～10月頃、県内全
子ども等による稚魚の放流
- PR映像・パンフレット制作
本県の水産業や食文化、伝統料理等を紹介する動画と冊子を制作
- 広報誌、行政情報番組等による広報PR
- 大会キャラ着ぐるみイベント出演
- 大会グッズ配布による認知度向上

IV 予算

- 予算と取組内容
- 平成28年度
準備委員会設立、PR映像・パンフレット制作
（21百万円）
- 平成29年度
基本構想・基本計画作成、リレー放流・地魚フェス開催、大会テーマ等募集・選定
（52百万円）
- 平成30年度
実施計画作成、実施本部設立、プレ大会開催、大会運営業務発注
- 平成31年度
実施マニユアル作成、100日前プレ大会開催、リハーサル実施、本大会開催
（未定）